

< 返還計画書記入例 > ※ 訂正された場合は、必ずその箇所に訂正印を押印してください

様式第7号（第10条関係）

看護職員修学資金返還計画書

資金	課程	修	学	生	番	号

貸与台帳を参照

該当番号に○印

返還理由	1. 貸与契約が解除された。 2. 卒業後1年以内に免許を取得しなかった。 3. 認定看護師教育課程の修了後1年以内に認定看護師名簿に登録されなかった。 4. 免許取得後直ちに特定施設で就業しなかった。 5. 認定看護師名簿への登録後直ちに特定施設で就業しなかった。 6. 修士課程を修了後1年以内に県内で就業しなかった。 7. 免許取得後もしくは認定看護師登録後、免除を受ける前に特定施設で就業しなくなった、または業務外の理由により死亡した。 8. 修士課程を修了後、免除を受ける前に県内で就業しなくなった、または業務外の理由により死亡した。
------	---

貸与台帳を参照

	百万	十万	万	千	百	十	円		百万	十万	万	千	百	十	円	
貸与金額 A								免除金額 B								
返還済額 C								返還金額 D=(A-B-C)								

貸与台帳を参照

貸与期間	年 月 から		年 月 まで	
------	--------	--	--------	--

該当番号に○印

返還方法	1 一括払い	2 月賦	3 2箇月毎	4 3箇月毎	5 4箇月毎	6 5箇月毎	7 半年賦
------	--------	------	--------	--------	--------	--------	-------

提出した翌月から開始(変更の可能性あり)

返還期間	令和		年		月	から	返 済 回 数			回
------	----	--	---	--	---	----	---------	--	--	---

返還する全回数を記入
貸与を受けた期間内に均等払い
1回か均等割の回数
(貸与期間÷返還方法)

	百万	十万	万	千	百	十	円		百万	十万	万	千	百	十	円	
第1回目の返還額								第2回目以降の返還額								

- 一括払の場合
返還金額を第1回目の返還額に記入
- 分割払の場合
返還金額÷返還回数の金額を記入
- 端数がでた場合
第1回目の返還額に加算

自署のみ有効。同筆跡不可。

上記のとおり返還します。

記入日→ ○○年○○月○○日

滋賀県知事

本人 〒○○○-○○○○
住 所 ○○県○○市○○町○○
電話番号 ○○○-○○○-○○○○

氏 名 滋賀 花子

連帯保証人
〒
住 所
電話番号 () -

氏 名
本人との続柄

連帯保証人
〒
住 所
電話番号 () -

氏 名
本人との続柄

借用証書に記載した連帯保証人が記入。



・シャチハタ不可

・連帯保証人は必ず2名

・添付する印鑑登録証明書と同じ印鑑(実印)を押印